

板野町橋梁長寿命化修繕計画

令和2年3月版

松阪跨道橋

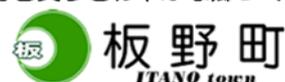


高樹大橋



板野町 建設課

～にぎわいと文化が行き交うさわやかな郷づくり～



板野町の橋の現状

板野町では、令和元年度時点で橋の長さが2m以上の橋を232橋管理しています。これらの橋の多くは、高度経済成長期に建設されており、今後、急速に橋の高齢化が進むことが予想されます

図-1は、板野町が管理する232橋のうち、建設から50年以上が経過した橋の割合の推移を示しています。この図からは、建設から50年以上が経過した橋が2019年時点で44橋（19%）であるのに対して、15年後には112橋（48%）、30年後には205橋（88%）となり、橋の高齢化が一段と進行することが分かります。

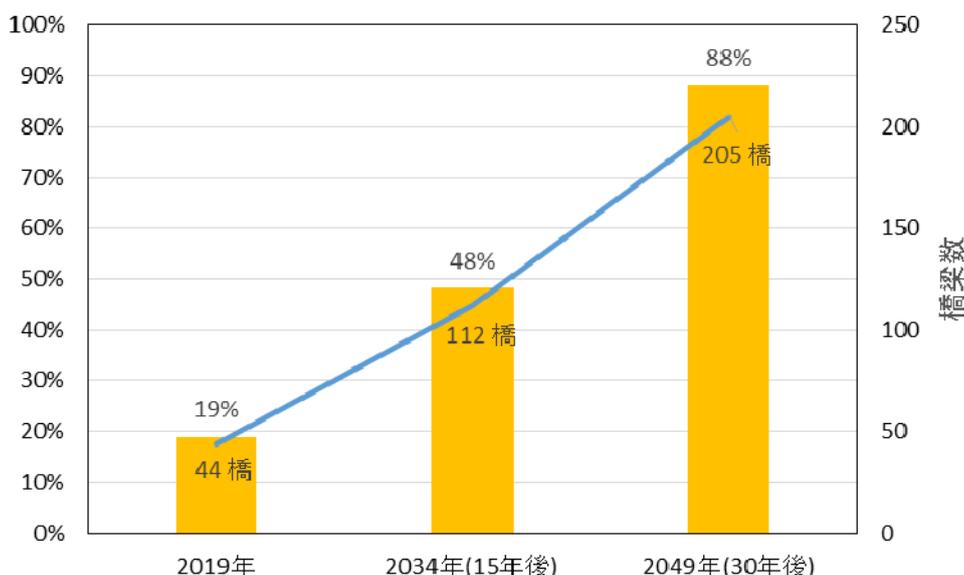


図-1 建設から50年以上が経過した橋の割合の推移

こうしたことから、高齢化した橋の安全性や信頼性を確保するためには、橋の修繕・架替えにかかる費用の増大が見込まれます。

このため、今後の橋の維持管理には、橋を出来るだけ長持ちさせ、合理的で効率的な維持管理を行うことによって、可能な限りコスト縮減に取り組むことが不可欠です。



従来の一般的な橋の寿命は50年～60年と言われているけど、これからは、こまめに橋を治すことで、出来る限り橋を長持ちさせるよ。



板野町の取組みと経緯

板野町では、これまで橋の損傷が大きくなってから修繕を行ってきました。これからは損傷が小さいうちに修繕を行い、修繕や架替えに要する費用の縮減に努めつつ、地域の交通ネットワークの安全性・信頼性を確保していきます。

そのため板野町では「橋梁長寿命化修繕計画」の策定により、これまでの『[対症療法的な維持管理](#)』から、橋の劣化の進行を予測し、損傷が大きくなる前に早めに手当てをする『[予防保全的な維持管理](#)』へ移行し、将来にわたる維持管理・更新(架替え)コストの最小化を目指していきます。

表一 1 管理手法

維持管理手法		
種類	内容	費用
対症療法的 (従来の方法)	<ul style="list-style-type: none">大きな損傷になってから対策を実施損傷によるダメージが大きいため、橋を長く使うことが難しい	多 
予防保全的 (今後の方法)	<ul style="list-style-type: none">小さな損傷のうちに対策を実施損傷によるダメージが小さいため、橋を長く使うことができる	少 

板野町では、重要な橋に対して平成 24 年 3 月に「橋梁長寿命化修繕計画」を策定し、計画に基づいた修繕を行い、橋の長寿命化に取り組んできました。

平成 26 年には、道路法施行規則において、全ての橋を対象に 5 年に 1 回の目視による点検が義務化され、板野町においても橋長 2m 以上の全ての橋に対し、目視による点検を行ってきました。

そして、前回の「橋梁長寿命化修繕計画」から 8 年経過し、すべての橋の点検が完了したことから、「橋梁長寿命化修繕計画」の見直しを行いました。

令和元年度の「橋梁長寿命化修繕計画」では、板野町が管理する橋長 2m 以上の全ての橋を対象に計画の策定を行い、計画的に修繕などの対策を実施していきます。また、継続的に点検を実施し、計画の見直しを行います。



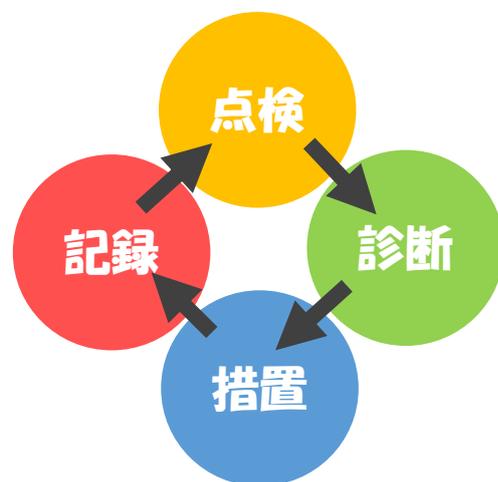
橋梁点検（橋の状態確認）

橋の点検は、点検車等を利用して橋全体を近接目視で行っています。点検には通行規制が必要になる場合もあり、住民の方の協力を頂きながら行っています。そして、点検で確認された損傷に対して修繕を行い、橋の長寿命化に努めています。



メンテナンスサイクルの構築

定期点検で健全度を診断するとともに将来にわたる長寿命化修繕計画を策定し、予防的な修繕を行うことで橋の維持管理を効率的かつ効果的に進め、橋の長寿命化を目指します。

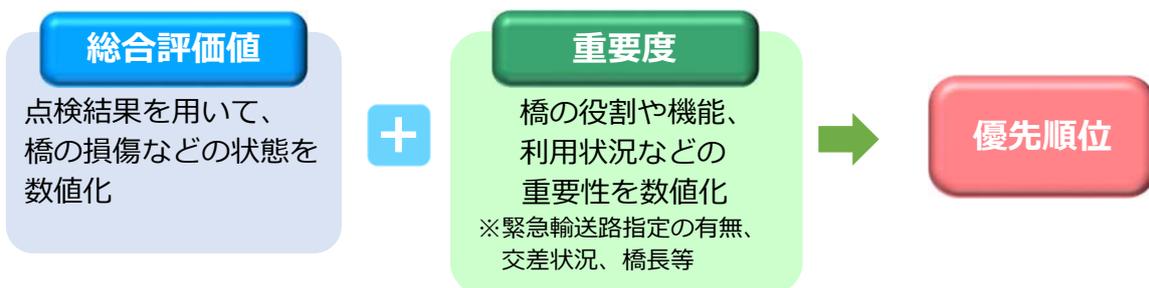


橋梁長寿命化修繕計画の見直し

対象橋梁、計画期間

板野町が管理している 2m 以上の 232 橋を対象に、今後 30 年間の橋梁長寿命化修繕計画を見直し、計画的な維持管理を行うための対策の優先順位を決めました。

対策の優先順位の考え方

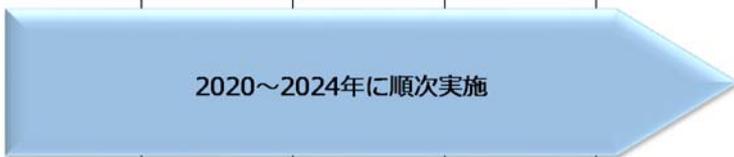


対策内容と実施時期

定期点検の結果、板野町が管理する橋には、早めに修繕対策を行うことが望まれる橋が確認されました。「橋梁長寿命化修繕計画」では、橋の傷み具合や道路ネットワークに対する重要性などから優先順位を決定し、すでに計画済みの橋を含め、これらの橋の修繕を優先的に行う計画としています。

表一2 最初5年間の修繕計画

橋の名前	建設年	橋長	有効幅員	工事内容	実施時期				
					2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
86号橋(楠ノ本橋)	1957	13.2	2.5	上下部工対策					
222号橋	1981	8.4	3	上下部工対策					
275号橋(犬伏橋)	1954	8.45	6.55	上部工対策					
294号橋	1947	3.6	3.5	上下部工対策					
87号橋(豊年橋)	1963	71.7	2.5	上下部工対策					
93号橋(江川橋)	1998	74	9.75	下部工対策					
223号橋(唐園橋)	1965	71.45	3.6	下部工対策					
273号橋(郡頭橋)	1984	26.5	7	下部工対策					
363号橋(大寺橋)	1982	200	12	上下部工対策					
296号橋(太郎橋)	1990	17.3	6.5	上部工対策					
358号橋(西淵橋)	1992	43.5	4	上部工対策					
12号橋	1975	16.5	4	上部工対策					
41号橋	1976	18	2	上部工対策					
89号橋(第二堀割橋)	1981	54.9	4	上部工対策					
277号橋(松坂橋)	1981	18.05	5.75	上部工対策					
45号橋	1978	14.5	4.5	上部工対策					
261号橋	1984	13.5	4	上部工対策					
351号橋(高樹大橋)	1997	181.2	7	上部工対策					
356号橋(工ノクボ橋)	1992	24.7	4	上部工対策					
41号橋	1976	18	2	上部工対策					
51号橋	1998	12.3	6	上部工対策					
74号橋(吹田橋)	1983	37.45	7.05	下部工対策					
80号橋(郡頭橋(小))	1981	21	4	上部工対策					
92号橋(第一堀割橋)	1982	54	5	下部工対策					
124号橋	1981	6.2	7	上下部工対策					
156号橋(眼鏡橋)	1993	31.8	5	上部工対策					
193号橋(井利橋)	1966	66.9	3.6	上部工対策					
194号橋(東浦橋)	1994	26.6	4	上部工対策					
281号橋	2003	10.6	5.1	上下部工対策					
314号橋	1994	12.8	5	上部工対策					
337号橋	1998	13.7	7.75	上部工対策					
357号橋(黒谷6号橋)	1997	34.5	4	上部工対策					
定期点検					橋梁ごとに5年毎に実施				



※補修工事は、橋のひび割れなどの対策や材料の腐食に対して塗装などを行います。
上記の計画は、今後の点検結果、財政状況によって変更となる可能性があります。



対策費用

本計画による試算では、今後 30 年間で橋の維持修繕に係る対策総事業費は、定期点検費・設計委託費・対策工事費を含め、現時点で、約 13.7 億円となりました。

検討会の開催

本計画は、「板野町橋梁長寿命化修繕計画策定検討会」において、学識経験者の方から意見を頂いて作成しました。

意見を頂いた学識経験者

徳島大学 大学院社会産業理工学研究部
理工学域 社会基盤デザイン系 構造・材料分野
成行 義文 教授

検討会の開催

令和 2 年 2 月 1 7 日



計画策定担当部署

〒779-0912 徳島県板野郡板野町吹田字町南 22-2
板野町役場 建設課
TEL : 088-672-5996 FAX : 088-672-5553
E-Mail : kensetsu@town-itano.i-tokushima.jp

